

# NTC型シェル&チューブ式熱交換器

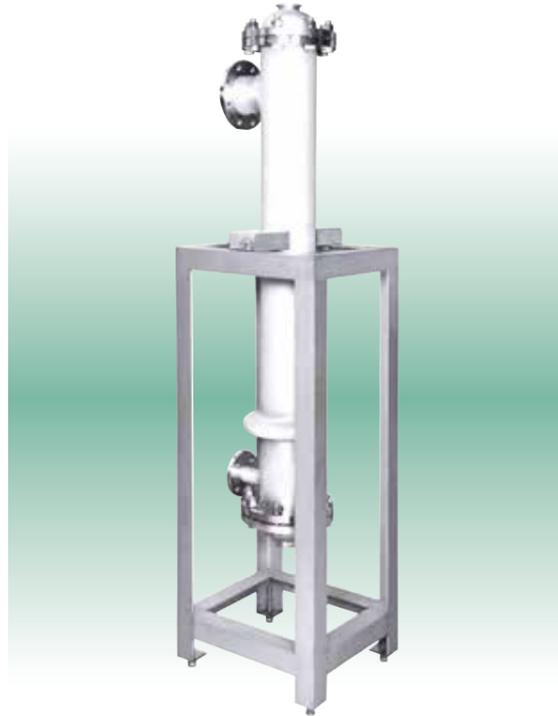
過酷なCIP条件下でも安心・安全にご使用いただけるように  
高耐熱・高耐圧を実現しました。

Ref No.L2/0601



# CIP装置

確かな洗浄性と安心・安全を追求した  
HACCP対応のCIP装置です。



## 特長

### 高耐熱・高耐圧

最高使用温度：99℃（CIP液/清水）  
：165℃（スチーム）  
最高使用圧力：1.0MPa（CIP液/清水）  
：0.6MPa（スチーム）

### 高伝熱性能

専用パイプの採用で、プレート式に匹敵する  
高い熱交換量が得られます。

### 高い強度を実現

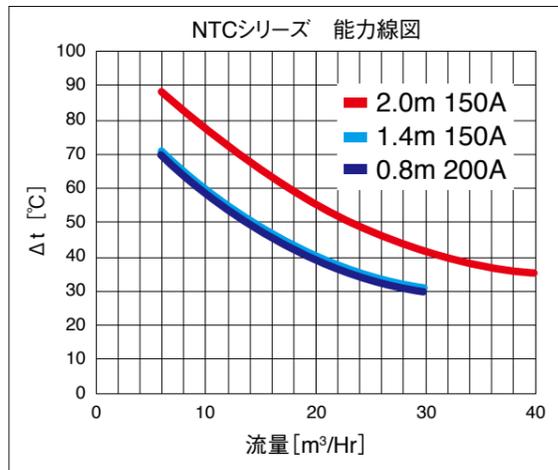
管取付部は拡管に加え、シール溶接を施して  
おり、耐久性に優れています。

### 圧力容器非該当

新設計により圧力容器に該当しません。  
官庁への申請、受検の手間を省くことができ  
ます。

## 用途

### CIP液の加熱／清水の加熱



※本グラフのΔtは初温20℃からの昇温想定しています。

**株式会社 イズミフードマシナリ**  
ISO9001 本社、東日本支社、西日本支社、九州営業所、淡路工場 認証取得  
<http://www.izumifood.shi.co.jp>

本社 〒661-8510 兵庫県尼崎市潮江4-2-30  
TEL.(06)6718-6150(代) FAX.(06)6718-6151  
テクノセンター  
東日本支社 〒141-6025 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower 25F  
TEL.(03)6737-2670(代) FAX.(03)6866-5125  
西日本支社 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2-3-33 大阪三井物産ビル10F  
TEL.(06)7635-3688(代) FAX.(06)7711-5127  
札幌営業所 〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西4-6-8 住友成泉札幌大通ビル9F  
TEL.(011)241-5525(代) FAX.(011)222-2950  
九州営業所 〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲5-6-20 明治安田生命福岡ビル3F  
TEL.(092)291-1151(代) FAX.(092)291-1152  
淡路工場 〒656-0122 兵庫県南あわじ市広田広田552-1  
TEL.(0799)45-1121(代) FAX.(0799)45-1128  
第1種圧力容器製造認可工場

・本カタログの内容等は、製品改良によりおことわりなく変更する場合があります。  
・ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

## 特長

- NTC型シェル&チューブ式熱交換器採用により、
  - ・ 高流量・高圧力での洗浄が可能で、短時間でより確実な洗浄効果を得る事が可能です。
  - ・ パッキンレス構造のため、
    - ・ プロセスラインへの異物混入が無く、安心です。
    - ・ パッキンの劣化による薬液の漏れが無く、安全です。
    - ・ パッキン交換のメンテナンスが不要です。
- フィードバック計器(温度・流量・濃度)により、洗浄の確実性と履歴確認が可能です。
- タッチパネルの装備により、洗浄工程や時間の選択が任意に可能です。
- 熱回収用のチューブ式熱交換器を組み込めば、大幅なランニングコストの低減が可能です(オプション)。

**株式会社 イズミフードマシナリ**

# シングルユースCIPユニット (Single-Use CIP)

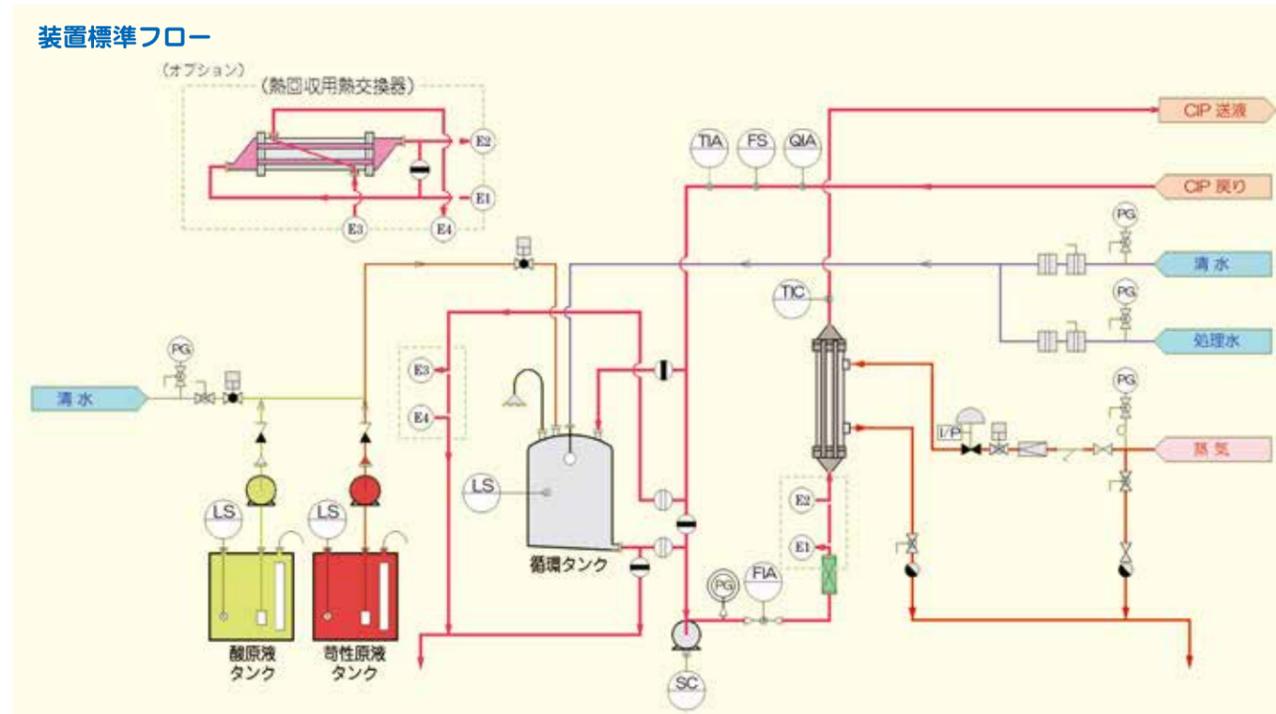
抽出、殺滅菌機等の汚れの激しいラインに最適です。

- 焦付き等の汚れが激しく、洗剤の繰り返し使用ができないラインでは、洗浄工程毎に洗剤の使い捨てを行い、常に新鮮な洗剤効力を最大限に活用することができます。
- また、殺滅菌機等の専用CIPユニットとする事で、他ラインと異なる洗剤種類、濃度、工程等を容易に組み込む事が可能です。



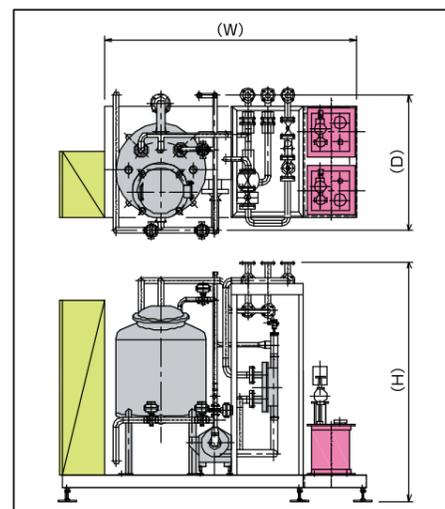
## 特長

- 設備費用が安価で、他ラインと独立した洗浄操作が可能。
- 設置スペースが小さく、製造ラインの近くに設置可能。
- 洗浄対象の汚れに応じ、洗剤の種類や濃度の変更が可能。
- ホストタンクの設置により、ステーション式に改造可能。
- 熱回収用熱交換器の追加により、連続回収プロセスでは蒸気使用量の大幅節減が可能(オプション)。



型式/S-CIP	38S	50S	64S	76S	
能力	送液能力(m <sup>3</sup> /H)	0~8	0~18	0~28	0~38
	加熱能力	20℃→60℃(循環時:60℃→80℃)			
装置寸法	W(mm)	2,380	2,675	2,970	3,245
	D(mm)	1,250	1,440	1,440	1,620
	H(mm)	2,200	2,200	2,350	2,350
ユーティリティ量	蒸気(kg/H)	640(40A)	1,450(50A)	2,250(65A)	3,050(80A)
	清水(m <sup>3</sup> /H)	10(40A)	22(50A)	32(65A)	45(80A)
	処理水(m <sup>3</sup> /H)	10(40A)	22(50A)	32(65A)	45(80A)
	電気(kW)	7.0	7.0	11.0	14.0
	エア(Nm <sup>3</sup> /min)	0.1(10A)	0.1(10A)	0.1(10A)	0.1(10A)

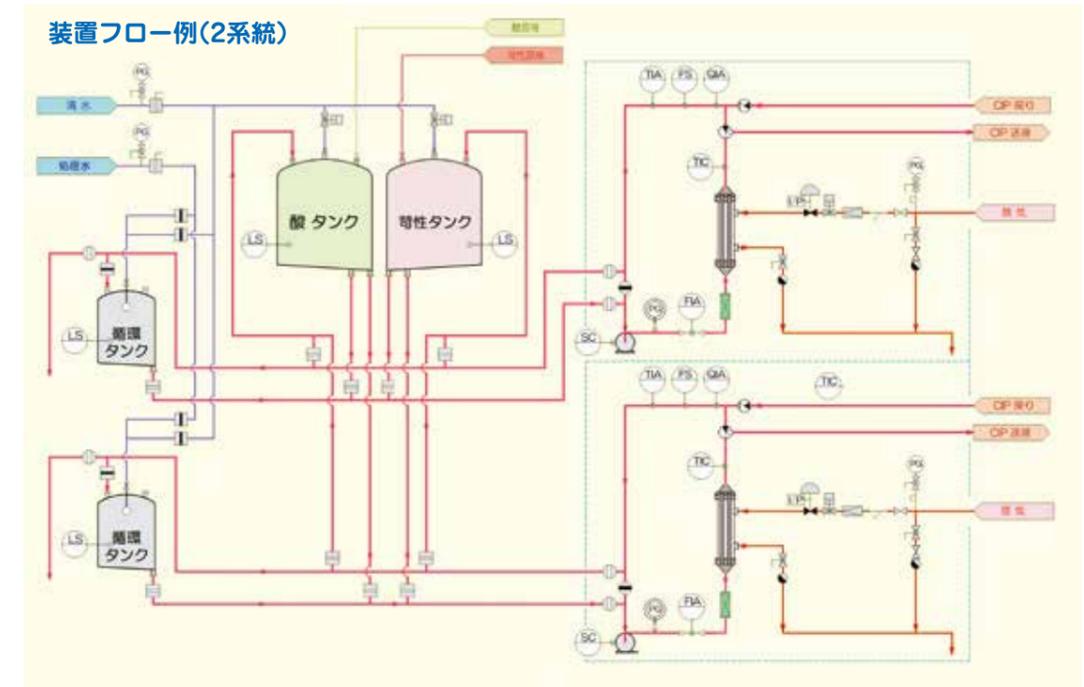
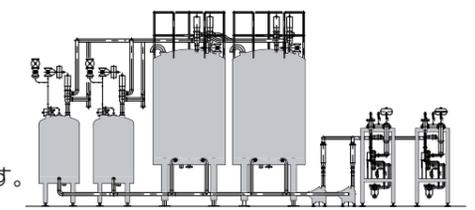
・蒸気：0.7MPa、・清水：20℃×0.2MPa、・処理水：20℃×0.2MPa  
 ・電気：3φ×200/220V×50/60Hz、・エア：0.5MPa常温



# マルチユースCIP装置 (Multi-Use CIP)

洗剤の再使用を前提とした経済的なCIP装置です。

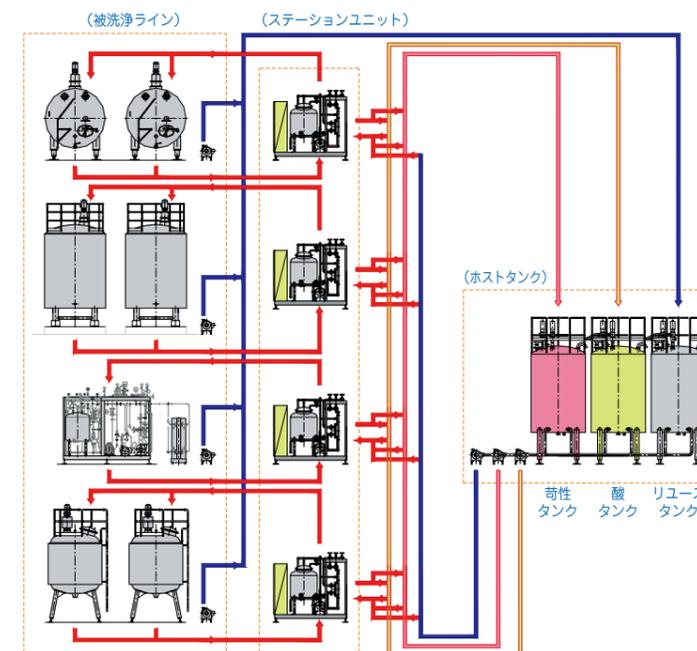
- 1つのCIP装置で複数のラインを洗浄する場合、洗浄タンクが大きくなります。これに対し小容量循環タンクを設置することで、最小限の洗剤循環量によりタンク昇温に対する蒸気消費量を節減することが可能です。
- また、洗剤を廃棄する場合においても廃棄量を最小限にすることが可能になります。
- 複数のラインに対し、全ての情報が集約されラインの集中管理が可能です。



# ステーション式CIPシステム (Station CIP)

工場単位でのCIP管理とランニングコストの低減に最適です。

## ステーション・イメージ



- 中央に大容量のホストタンクを設け、各洗浄ラインに加熱循環用ステーションユニットを設置します。
- CIP用洗剤は各ステーションの必要量がホストから供給され、各ステーションは洗浄工程終了に伴いCIP洗剤をホストタンクに回収します。
- また、工場全体の製造用冷却水等は、ホストのリユースタンクに集合回収されCIP用洗浄水として再利用します。

